

## 特定免許状失効者管理システム\_利用組織で見られた課題と対応

システムの活用に当たって利用組織において見られた課題と講じられた対応についてまとめました。以下の内容も参考に、各組織において規則や体制の点検・見直しをお願いします。

No.	課題	講じられた対応
1	利用組織の全職員をユーザー登録している（教諭、保育士、事務職員、運転手、管理栄養士、用務員など）	組織の長が責任をもってユーザーの精査を行い、「任命又は雇用の判断に当たって一定の権限を有する者」に限定した（理事長、園長など）
2	利用対象外の機関の職員採用に当たって活用する恐れがある	業務マニュアル等を参照し、当該システムが「学校」の「教育職員等」を採用しようとする場合に限り利用できるものであることを再確認し、使用者・使用場面に係る組織内規定を整備・周知した。
3	採用に関して権限を有する担当にシステムの活用義務が浸透していない	システムを「誰が、いつ、どのような対象に対して活用するのか」について分かりやすい資料を作成し、組織内及び所管の各機関に周知するとともに、ユーザーID 登録状況の点検を依頼した。
4	各種通知やマニュアルを紛失した又は参照していない	関係通知やマニュアルを集中管理し、担当が随時参照可能とするとともに、異動時にはファイルの在処も含めて後任に引き継ぐこととした。
5	設置認可権者からの連絡文書が法人に認識されていない	設置認可権者と連携して連絡システムを再確認し、漏れないよう体制を整備した。
6	人事異動時にユーザーID の追加や削除が適切に行われていない	人事異動の手続項目にユーザーID の追加・削除を組み込み、漏れなく実施されるようにした。
7	単一のユーザーID を関係職員が共同で利用している	ユーザーID を個人ごとに切り分けるとともに、管理職が登録ユーザーの一覧を把握し、抜け漏れがないようにした。
8	システム利用権限のない者による覗き込み対策が十分に実施されていない	覗き込み対策に対する一定のルールを設け、パーティションで仕切った作業スペースの設置、覗き込み防止スクリーンの配置など物理的対策も講じた。
9	端末、ネットワーク等のセキュリティ対策が不十分な恐れがある	法人理事やセキュリティ専門会社も交えてセキュリティ対策について検証し、必要な対策を実施した。
10	組織内の個人情報保護規定が十分に整備されていない、又は規定どおりに運用されていない	個人情報保護法及びそのガイドラインを責任者が確認し、理事会等で協議の上、改正法を踏まえた規定を整備した上、最低年1回の周知・点検の機会を設けることとした。